2015 IR 説明会(2015.3.6 開催)

日刊建設工業新聞 2015. 3. 10

ンサルタ

12月期)決算説明会で今後の事業方針を明らかにした。第3次長期プラン(13年7月 ~19年6月)で掲げる成長戦略の一つと位置付ける新たなビジネスの展開について、 福山コンサルタントは、6日に福岡市内で開いた15年6月期第2四半期(14年7~

表明した。 指し、7月ごろまでにグループ企業の管理部門を集約する新会社を立ち上げることも 福島宏治社長は「M&A(企業合併・買収)で外部から(新たなビジネス基盤を)獲 得する。対象企業の選定を進めている」と説明。持ち株会社型企業集団への移行を目

集約する「シェアー ループ各社の管理部門を 既に自社株を取得し、 先行するとの見通しを示 については、M&Aより ィングス(HD)の設立 ービス会社」を7月まで した。HDの準備として に設立するとした。 ドサ グ

年に当たる19年6月期の サルタント事業で60億 回けビジネスで40億円の 規事業を加えた建設コン つち従来の得意分野に新 億円を目標に設定。この **連結決算で売上高100** 福島社長は、今後のM トした6カ年の長期プ 新たな顧客(民間) にした。 建設コンサルタント事 持ち株会社のホー

入っていることを明らか |テムを活用してモニタリ 線・リニアの関連業務を 析の技術を活用し、 対応する。鉄道分野では 高速道路大規模改修にも 画像解析や3次元振動解 ング事業を拡大し、首都

ランによると、

同社が13年7月にスタ

重点的に展開する。 拡大。これまで東北を中 海外進出に向けた案件化 Pは関東や九州北部にも 心に取り組んでいたPP 験のあるOBも活用し、 新規事業では、海外経

> れを他のデータと統合す 調査やODAプロジェク グシステムへの展開を図 ることで交通モニタリン 段を特定する新システム 移動情報から利用交通手 の開発を進めており、こ ト調査を加速する。人の

期見通しは変更しない ともに前年同期を上回っ 堅調に推移しており、 た。第3四半期の受注も の業績は受注高、・売上高 15年6月期第2四半期

老朽化対策では無 する。インフラの 化関連業務で展開 強靱(きょうじん) ク評価技術を国土



との提携も完了し、現在

る。

防災分野では自社で

は対象企業の選定段階に

| 開発した道路ネットワー

認会計士などの専門家の

必要な外部機関

置などに積極的に関与す が進める公共施設の再配 めに社会保険労務士、

インの関係を目指す」と

M&Aの準備のた

を一段と強化する。 ▽PPPーなどへの対応 朽化対策▽鉄道関連事業 生▽防災▽インフラの老 業の展開では、▽地方創

地方創生では、自治体

被性を高めていくのが狙 8Aについて「企業の永

両者がウイン・ウ

催保を目指している。

事業方針を説明する福島社長

内水氾濫監視シス 線センサーシステ ムと実証実験中の